特　集

田 子 の 浦 港 の 港 湾 統 計

田子の浦港管理事務所　総務管理課

1 はじめに

「港湾統計」は、港湾の実態を明らかにし、港湾の開発、利用及び管理に資することを目的とした港湾に関する唯一の基幹統計調査の結果である。

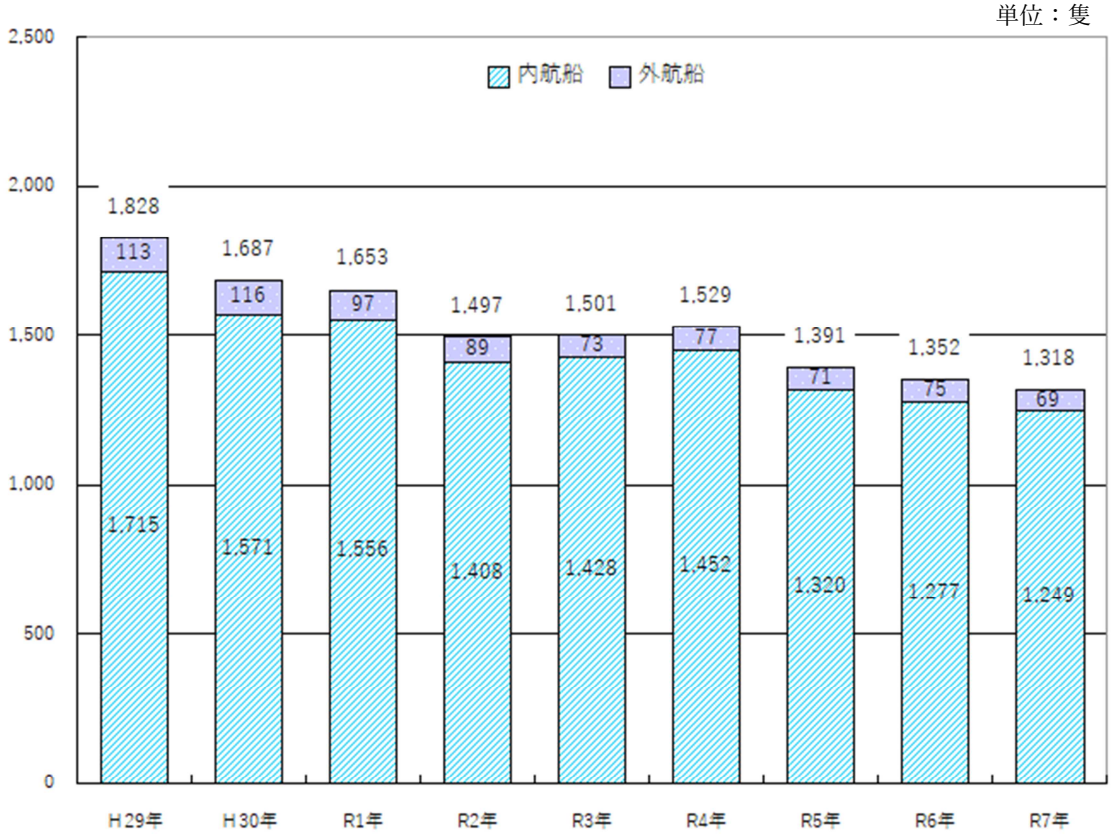
この統計を基に、田子の浦港管理事務所では、田子の浦港の概況を取りまとめた。

2 入港船舶

2-1 入港船舶数の推移

令和７年の入港船舶数は、外航船 69 隻、内航船 1,249 隻の合計 1,318 隻で、前年と比較すると、外航船は６隻（8.0%）の減少、内航船は 28 隻（2.2%）の減少、合計 34 隻（2.5%）減少した。

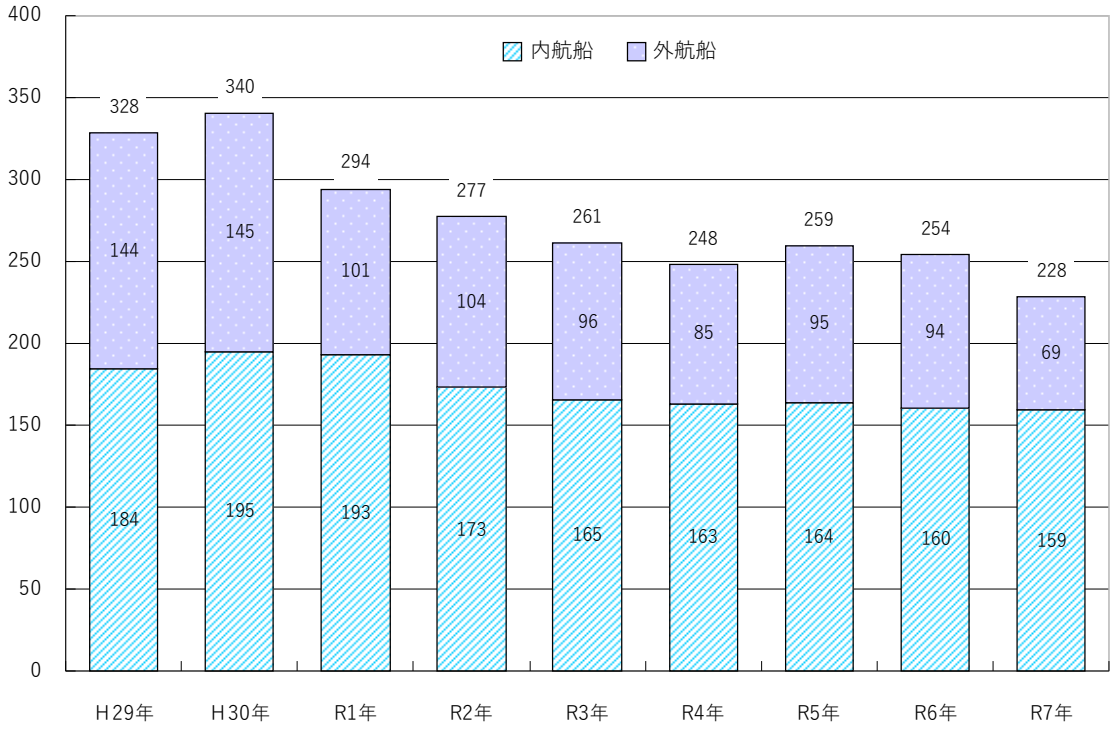
単位：隻



2-2 入港船舶総トン数の推移

令和７年の入港船舶の総トン数は、外航船 692,205 トン、内航船 1,591,899 トンの合計 2,284,104 トンで、前年と比較すると、外航船は 243,346 トン（26.0%）の減少、内航船は 12,371 トン（0.8%）の減少、合計 255,717 トン（10.1%）減少した。

単位：万トン

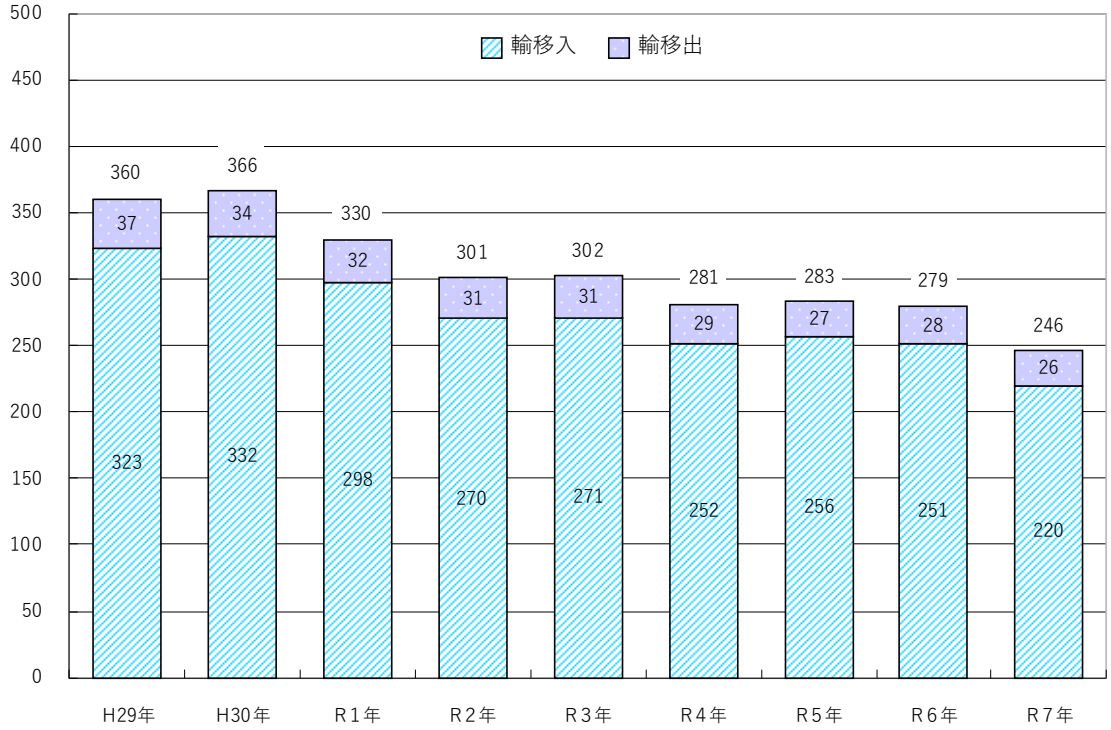


3 海上出入貨物

3-1 海上出入貨物量の推移

令和７年の海上出入貨物量は 2,458,925 トンで、前年と比較すると、333,207 トン（11.9%）減少した。

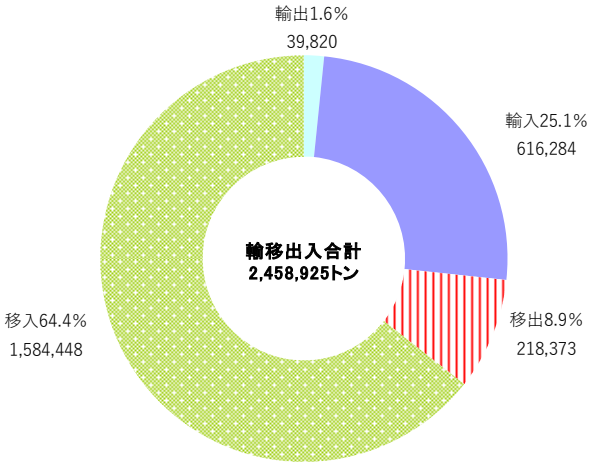
単位：万トン



3-2 海上出入貨物の構成

3-2-1 輸移出入の割合

令和７年の海上出入貨物の構成は、移入が６割以上を占める。次いで輸入が 25.1%、移出が 8.9%、輸出が 1.6%である。

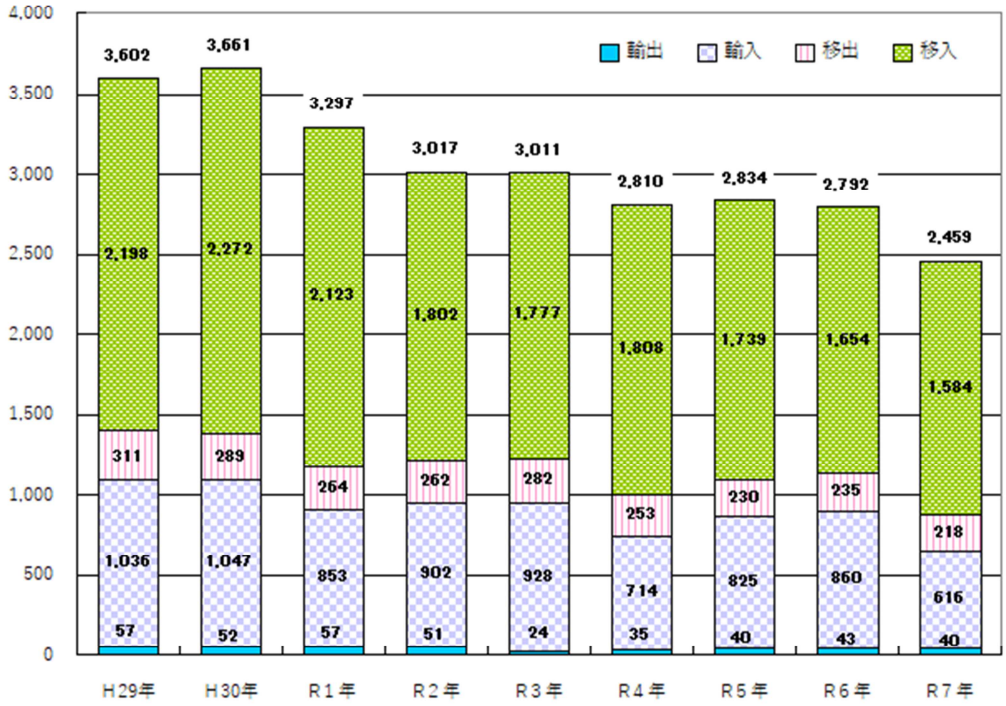


3-2-2 輸移出入別の推移

外貿貨物で見てみると、輸出は 39,820 トンで、前年と比較すると、2,938 トン（6.9%）減少し、輸入は 616,284 トンで、244,092 トン（28.4%）減少した。

内貿貨物を見てみると、移出は 218,373 トンで、16,329 トン（7.0%）減少し、移入は 1,584,448 トンで、69,848 トン（4.2%）減少した。

単位：千トン

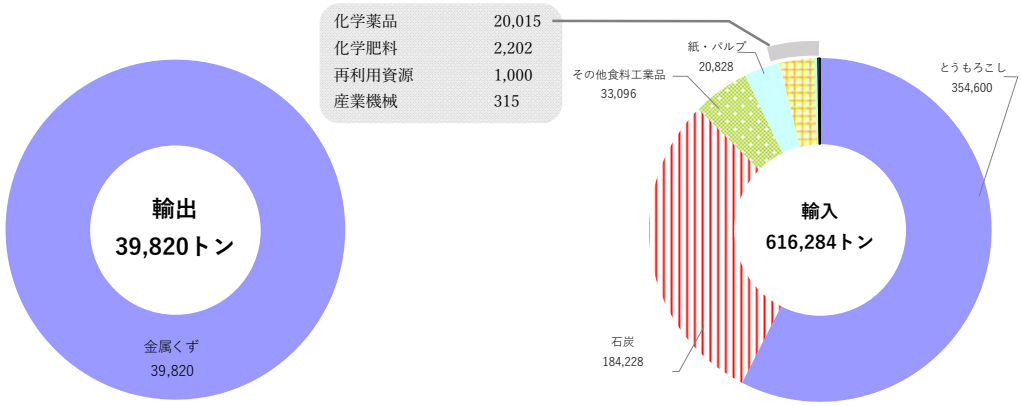


3-3 品種別

3-3-1 輸出入の品種別構成

令和７年の輸出入では、輸出は金属くずのみで、前年と比較すると、2,938 トン（6.9%）の減少であった。

増減率の多い品種として、輸入は、紙・パルプ 19,331 トン（1291.3%）、化学肥料 1,594 トン（262.2%）の増加、木材チップ 266,033 トン（100.0%）、化学薬品 7,508 トン（27.3%）、金属くず 2,938 トン（6.9%）の減少があげられる。



3-3-2 移出入の品種別構成

令和７年の移出入を前年と比較すると、増減率の多い品種として移出は、紙・パルプ 671 トン（93.1%）、非金属鉱物 120 トン（92.3%）、金属くず 5,105 トン（53.2%）、その他食料工業品 1,393 トン（48.6%）の増加、重油 1,232 トン（50.5%）、再利用資源 17,394 トン（34.4%）、化学薬品 1,739 トン（19.4%）、砂利・砂 3,096 トン（9.4%）の減少があげられる。

移入は、石炭 650 トン（16.9%）、産業機械 54 トン（15.1%）、鋼材 17,389 トン（8.2%）、紙・パルプ 10,979 トン（5.3%）の増加、化学肥料 3,362 トン（40.7%）、重油 45,771 トン（40.3%）、とうもろこし 22,143 トン（39.9%）、その他食料工業品 2,380 トン（31.3%）の減少があげられる。

